

就活へ身だしなみ指導 県立広島大 ウェブ面接対応も



今後の活動に向け身だしなみを学ぶ学生

企業のインターンシップ（就業体験）や就職活動に備え、県立広島大（広島市南区）は大学3年生を対象に身だしなみに関するセミナーを初めて開いた。「学生個人の魅力を引き出す」のが目的。新型コロナウイルスの感染拡大で普及しているウェブ面接への対応にも時間を割いた。

「好印象身だしなみセミナー」として5月下旬に2回開催。男女計17人が参加した。メイクを学ぶ講座では、花王グループカサタマーケーティング中西国支社（南区）の講師が登場。

学生は「眉は目の幅よりやや長く整えると良い」などのアドバイスを受け、手鏡でポイントを確認していた。肌のケアなどについて学ぶ講座もあった。

ウェブ面接では、顔に影がかからないことが大切とし、正面から自然光を取り

込むように窓に向かって座る▽手前に白い紙を置くことで光が反射し、顔が明るく映る▽などのノウハウを学んだ。地域産業コース3年尾川友梨さん(20)は「学んだメイクや表情の作り方を生かして、面接で好印象を残せるように頑張りたい」と話していた。（平田智士）